

# 広川町の維持向上すべき歴史的風致

計画期間

令和8年度(2026)～令和17年度(2035)

## 1 「稲むらの火」の伝承と復興に見る歴史的風致

「稲むらの火」は戦前の国定教科書に掲載された物語で不朽の防災教材といわれ、安政の大津波で濱口梧陵の機知に富んだ村人の救済活動を題材としています。濱口梧陵の村人救出と広村堤防築堤による広村復興劇は、津波防災の象徴として語り継がれています。



## 2 廣八幡宮の祭礼にみる歴史的風致

廣八幡宮では毎年10月1日に五穀豊穡を祝う秋祭りを盛大に開催します。この秋祭りは地域の一体性を高める祭として受け継がれています。田楽や獅子舞が奉納され、渡御行列は歴史的な町並みと一体となりぎわう姿を見せています。



## 3 吉宗ゆかりの出世大黒天の祭礼にみる歴史的風致

養源寺は、中世に築かれた広の町場の要諦に位置し、徳川吉宗ゆかりの歴史的遺産が多数伝えられています。「出世大黒天」は吉宗が將軍の座を射止めたことで地域から篤い信仰を受け現在に引き継がれています。



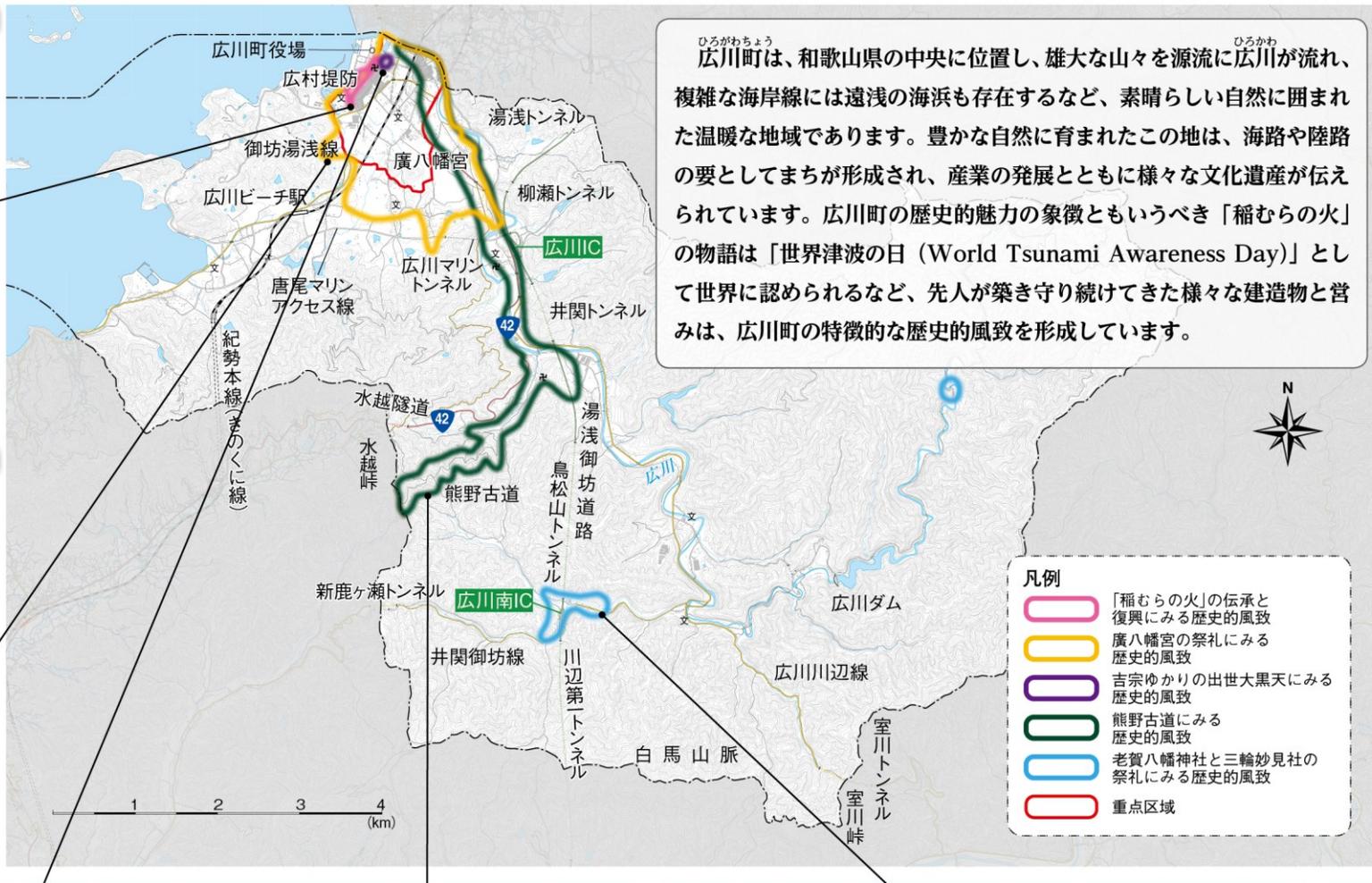
## 4 熊野古道にみる歴史的風致

熊野古道は霊場「熊野三山」への参詣道で、熊野神の御子神を祀った「熊野九十九王子」といわれる王子跡も残ります。王子跡に立ち寄りながら熊野を目指し、歩む人々の姿には、往時から続く、熊野参詣への篤い想いが伝わります。



## 5 老賀八幡神社と三輪妙見社にみる歴史的風致

老賀八幡神社と三輪妙見社は、山間の集落で人々の篤い信仰によって支えられています。壮大な景観を背景に催される祭礼は、山間部特有の歴史的風致がみられます。



# 広川町の重点区域における事業概要

## 広村堤防歴史広場整備事業

広村復興の象徴史跡である広村堤防周辺に広場を設け、多くの来訪者が史跡を体感し、広村堤防への理解を高める整備を行います。



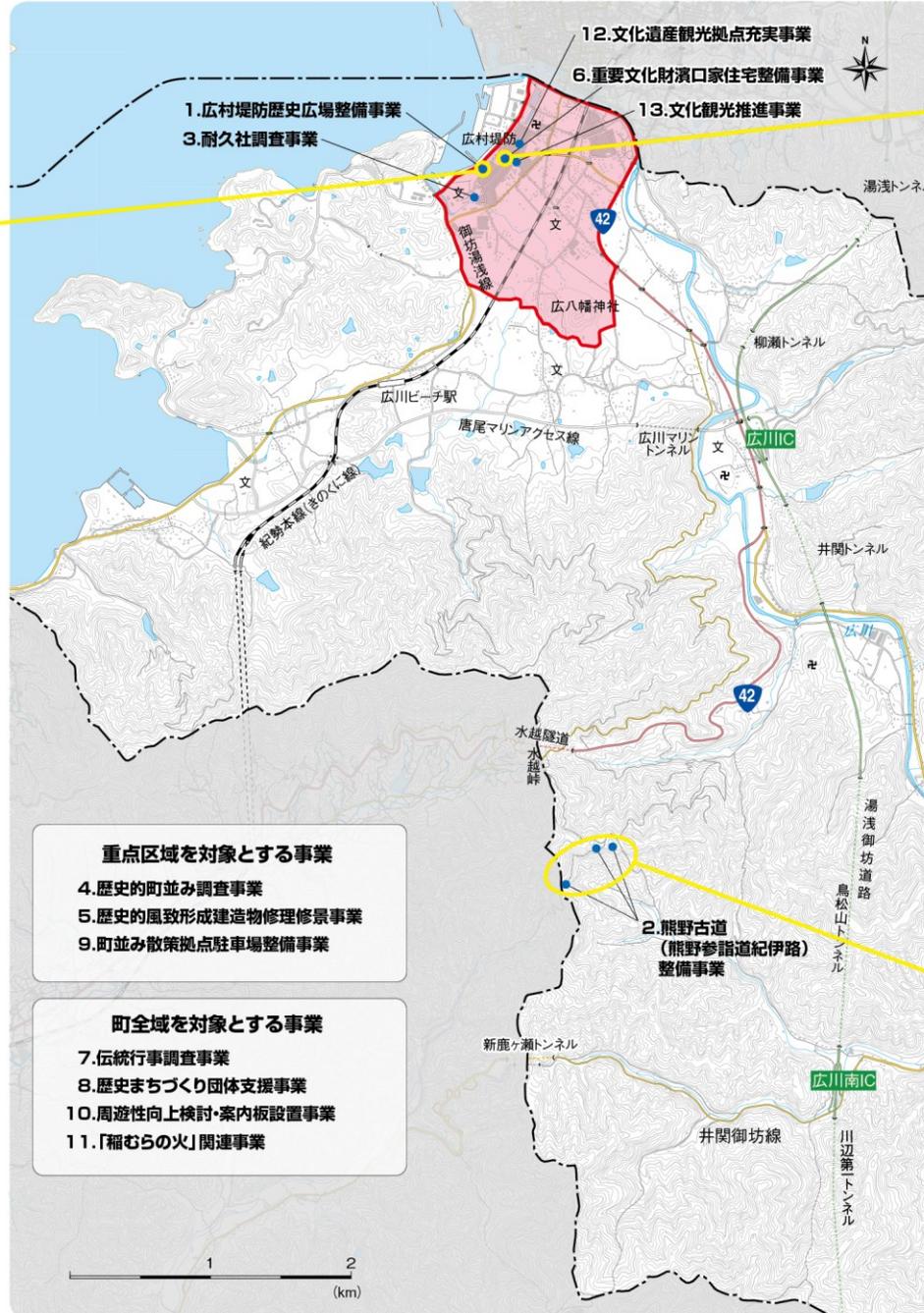
## 歴史的風致形成建造物修理修景事業

安政の大震災から復興した町並みが残る広地区、歴史的風致を形成する重要な建造物の保存とその活用を進めます。



## 「稲むらの火」関連事業

「稲むらの火」に関する啓発事業や濱口梧陵の顕彰事業を実施します。平成 27 年（2015）に制定された「世界津波の日」、平成 30 年に認定を受けた日本遺産「百世の安堵～津浪と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～」と関連したイベントや講座等の開催を行います。



## 重要文化財濱口家住宅整備事業

濱口家住宅は、近世から近代に至る屋敷構えが一体で残り、広地区を代表する建造物です。建造物の保存修理事業を実施し、それに合わせて防災施設整備、今後の活用方針に即した整備についても実施します。



## 伝統行事調査事業

町内に多数残されている伝統行事の詳細調査・記録調査に取り組み、歴史・伝統を活かしたまちづくりを進めます。



## 熊野古道 (熊野参詣道紀伊路) 整備事業

霊場「熊野三山」への参詣道である熊野古道の要所、鹿ヶ瀬峠の保存・活用方針を検討し、往時の熊野古道を体感できる整備を行います。

